

「都市像」(案)

●第2回審議会に提示した都市像案

「互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち」「北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち」

●都市像案に対するご意見（一部を抜粋）

- ・「札幌」や「北海道」を別な地域に置き換える成り立つ。札幌らしさを出し、市民の共感を呼び込む魅力ある書きぶりを期待する。
- ・雪の恵みも活かして暮らしていることについて、ポジティブな発信をすることが大切。
- ・強みの一つ「豊かな自然環境」と、それを守る都市としての姿勢を、さらに前景化して良いのでは。
- ・魅力については、自然に頼るだけでなく、市民が力強く地域を支えている事例はたくさんある。みんなで力を発揮していくと思えるような内容が盛り込まれるとよい。

新案①	<p>「ひと」「ゆき」「みどり」の織りなす輝きが、豊かな暮らしと新たな価値を創る、持続可能な世界都市・さっぽろ</p> <p>(説明)札幌市の特徴を「ひと」「ゆき」「みどり」で表すとともに、重要概念として位置付けるユニバーサル(共生)が意味する支え合いやつながりを「織りなす輝き」で、ウェルネス(健康)を「豊かな暮らし」で、スマート(快適・先端)を「新たな価値を創る」で表し、これらによって未来を拓き、持続可能な都市モデルを作り世界をリードすることを表現</p>
新案②	<p>誰もがつながり、支え合って、生き生きと活躍し、新たな価値の創造に向けて挑戦できる、持続可能な世界都市・さっぽろ</p> <p>(説明)前段で、ユニバーサル(共生)、ウェルネス(健康)、スマート(快適・先端)の内容を具体的に表現し、後段で、これらで持続可能な発展を遂げ、世界をリードすることを表現</p>
新案③	<p>誰もがつながり、支え合って、生き生きと活躍し、新たな価値の創造に向けて挑戦できる、「ゆき」と「みどり」の世界都市・さっぽろ</p> <p>(説明)前段は新案②と同様。後段で、札幌らしさとともに、特に環境面での持続可能性の実現を表現</p>

※織りなす：糸を織り上げて、美しく立派な織物を作ること。

比喩的に、複数の細かい要素を組み合わせることによって優れた全体像を成すさま。

※世界都市（定義の一例）：国内の若者等を含む、世界の人々を引き付ける魅力的な都市（世界経済をリード、

教育環境が充実、文化的な中心地、国際的なハブ、質の高い生活等）

※都市像案の文字の色の使い分けは、本資料での扱い

「第3章 都市像」構成イメージ

※都市像⇒解説文の順に掲載～（これまで）札幌市は、自然の恵みと暮らしてきた人と、各地から移り住んできた人などが、伝統と文化を紡ぎながら、外国の英知を取り入れ成長。年間約5mもの雪が降る地域にありながら、190万人が生活する世界でも稀な都市に発展。北海道の中心都市として、都市機能を高めながらも、郊外の山林や公園などの豊かなみどりを保ってきた。雪やみどりを生かし、雪まつりや冬季五輪の開催、芸術の森、モエレ沼公園の建設なども実施。

（現在）2022年に市制100周年を迎える、次なる100年のスタート地点。増加の一途を辿ってきた人口も、ここ数年のうちに減少に転じ、持続可能性をより意識したまちづくりへの転換期。また、ウィズ・ポストコロナに向けた取組、さらにSDGsの達成や、脱炭素社会の実現に向け、国際社会の一員として取組を加速させていく時期。

（今後）このため、雪やみどりといった自然の恵みが守られ、さらには生かされた中で、子どもから大人まであらゆる世代の市民、多様な人が交わり、一人一人の思いがつながって、

- ・新しい時代に相応しい真に豊かな暮らしを創る
- ・経済や学術、スポーツ、文化、環境等広い分野において、国内外から活力と投資を呼び込み、新たな価値を生み出す拠点となる

以上のことから、成熟社会における課題を一早く解決し、世界をリード。

※まちづくりの「重要概念」（「第3章 都市像」で定義） 今後は、人口減少の緩和はもとより、人口構造の変化に大きな影響を受けない、変化を積極的に生かせる社会を作る必要。誰もがその個性や能力を認められ、障壁や困難が解消されていること、生産年齢（15～65歳）という枠に捉われず、生涯健康で学び活躍できること、新たな価値の創出に向けて挑戦できることが重要。

「ユニバーサル（共生）」

誰もが多様性を尊重し、互いに手を携え、心豊かにつながること。また、支える人と支えられる人という一方の関係性を超えて、双方に支え合うこと。具体的には、移動等のバリアフリー、心のバリアフリー・ダイバーシティ・インクルージョン、障壁や困難の解消（時間・季節を問わず）、格差の是正、機会の均等、交流の促進など。

「ウェルネス（健康）」

誰もが幸せを感じながら生活し、生涯現役として活躍できること。身体的・精神的・社会的に健康であること。具体的には、予防・健康づくり、健康をもたらす社会環境、ウォーカブル、健康寿命延伸、学び直し、学習・経験を生かす機会の創出、「人生100年時代」など。

「スマート（快適・先端）」

誰もが新たな価値や可能性の創出に向けて挑戦できること。具体的には、先端技術等の活用による快適・利便性や生産性の向上、レジリエンス、人材の育成、知的生産、スタートアップ、ゼロカーボン、「雪」など。